



講話を聞く来場者

第10回ホネホネサミット2025

昨年11月22日(土)・23日(日)に「第10回ホネホネサミット2025」が、ふるさと総合センターにて開催されました。同サミットは、骨格標本の魅力を発信するイベントで、毎年開催場所が異なり、昨年は黒潮町で開催されました。全国から約30の大学や博物館、個人の方が集まり、活動紹介や標本の展示などが行われました。展示以外にも博物館の職員を講師に招き講演も行われ、多くの方が来場しました。

来場した中田雅子さんは、「このイベントに参加するために京都から帰ってきた息子と夫と一緒に来た。大きい骨などに興味があり、いろいろな人の話を聞いて勉強した。楽しかった」と話しました。



イベントの様子

かき瀬川流域の秋を楽しむ日2025

昨年11月16日(日)、「かき瀬川流域の秋を楽しむ日2025」が御坊畑地区で開催されました。

同イベントは、田園に野だて傘を立てて茶室とし秋を楽しむ日として開催され、多くの来場者が町内外から訪れました。会場では、地域特産の番茶や地元産の野菜が販売され、ツガニ汁もふるまわれました。また、田園では音楽やダンスの催し物が行われ、来場者らを楽しませました。

来場した宮地浩美さんは、「参加は今年で2回目。にぎやかで楽しかった。地域のお店になかった番茶をここで買った」と話しました。



野菜を売る児童

上川口マルシェ

昨年11月29日(土)、上川口小学校で今年で7回目となる「上川口マルシェ」が開催されました。オープニングでは、幡多舞人による踊りや大方中学校吹奏楽部の演奏が行われました。児童が中心となり運営する同イベントは、「みんな楽しもう」をテーマに、地域を盛り上げ、たくさんの人との交流を深めたいという思いで開催されました。マルシェでは、一般の出店のほか同校児童による野菜や果物、自作のグッズなどの販売も行われました。

同校6年生の齊藤みことさんは、「忙しかったけど、地域の人たちが優しくしてくれたので嬉しかった。大きい声で宣伝することが大切だと思う」と話しました。



飾り付けをしたツリーの前で歌う園児ら

大方中央保育所園児が土佐入野駅でクリスマスツリー飾り付け

昨年12月5日(金)、大方中央保育所の園児15名が、土佐入野駅でクリスマスツリーの飾り付けを行いました。

園児らは、自分たちで手作りしたクリスマス飾りをツリーに飾り付けました。飾り付けの後は歌を披露し、サンタさんからプレゼントをもらいました。その後は、列車に乗って中村駅まで行き、四万十市の保育園児が飾り付けたツリーを見学しました。

園児らは、「楽しかった」、「雪だるまやツリーの飾りを付けた」、「てっぺんの近くに飾りを付けることができて嬉しかった」などと話していました。